

令和5年度

第5回 阿波市教育委員会定例会会議録

阿波市教育委員会

令和5年度第5回 阿波市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和5年8月24日(木)

開会 午後2時00分

閉会 午後3時40分

2 場 所 阿波市役所 本庁 3階 306会議室

3 出席委員

教 育 長	高 田 稔
教育長職務代理者	重 清 由 充
委 員	大 戸 井 美 生
委 員	森 本 匡 史
委 員	細 川 敬 雄
委 員	森 文 彦

4 会議出席者

教 育 部 長	森 友 邦 明
教 育 次 長	佐 藤 正 彦
教育次長兼教育総務課長	酒 卷 達 也
学 校 教 育 課 長	前 田 耕 志
社 会 教 育 課 長	板 東 毅
学校給食センター所長	井 内 徹
(書記) 教育総務課課長補佐	佐 坂 景 子

5 議題

- (1) 阿波市中学校部活動地域移行推進協議会設置要綱の制定について
- (2) 令和4年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書について
- (3) 令和5年度阿波市一般会計補正予算(第6号)教育委員会所管部分について
- (4) 準要保護の認定について
- (5) 阿波市中学校における部活動の在り方に関する方針について  
(追加議案)

会議の大要は、次のとおり。

【高田教育長】 定例会を開催する旨を告げる。

前回会議録の承認について

【高田教育長】 前回会議録の承認について何かご意見ございませんか。

〈質 疑〉

なし

【高田教育長】 それでは承認いたします。

教育長の報告について

【高田教育長】 7月29日から8月24日までの、主だった教育委員会行事について報告。  
何かご質問はございませんか。

〈質 疑〉

なし

【高田教育長】 報告を終わり、議事に進みたいと思います。

議案第1号 「阿波市中学校活動地域移行推進協議会設置要綱の制定について」

【高田教育長】 議案第1号 「阿波市中学校活動地域移行推進協議会設置要綱の制定について」事務局より説明をお願いします。

【前田学校教育課長】 「阿波市中学校部活動地域移行推進協議会設置要綱の制定について」説明。

【高田教育長】 ただいまの議案第1号について、ご質問等ございますでしょうか。

〈質 疑〉

なし

【高田教育長】 それではお諮りいたします。議案第1号「阿波市中学校部活動地域移行推進協議会設置要綱の制定について」は原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

【各委員】 異議なし

【高田教育長】 それでは、異議なしと認め、議案第1号は原案のとおり決定されました。

議案第2号 「令和4年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書について」

【高田教育長】 議案第2号 「令和4年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書について」事務局より説明をお願いします。

【森友教育部長】 「令和4年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書について」説明。

【高田教育長】かなり分量の多い資料になっております。この件に関しましては、委員さんに、ご質問、ご意見、またご感想を一言でもいただけたらありがたいと思っておりますので、順番にお願いしても構いませんでしょうか。お気づきになるところで結構でございますので、どうぞよろしく願いいたします。

〈質 疑〉

【重清委員】お聞きしたいことと感想を述べさせていただきたいと思います。資料の10ページからお願いします。課題や今後の方針で、「希望する人材の確保が難しい」とありますが、現在4人のALTの先生方にお世話になっておりますが、状況はどのようでしょうか。最長5年間ということと、子どもとのコミュニケーションが取れているのかということや環境には慣れておられるのでしょうか。

【前田学校教育課長】ALTの今後の課題のところでございますが、ちょうど今年8月に2名帰国されまして、新しい方が2名来られました。4名にはなっていますが、今年帰られた2名の方は、去年来られまして1年で帰っています。来る方については、阿波市の方では決定権はございませんので、毎年来年度どうするのかなどの聞き取りが1月くらいにありまして、その時点で帰国するとか、もう1年いるという話をしますが、その時にならないとわかりません。それぞれのALTが中学校区に入っております。1人あたり3校から4校ぐらいまわられて英語活動・授業の補助についております。英語の先生と英語指導講師がおりますので、その中で連携をとりながら子どもたちを教えていただいています。各学校の環境になじんでいるかどうかは学校の教頭先生などに確認はしておりますが、英語の先生同士でしたら話ができますが、先生方はそれぞれに事務がいっぱいで、ALTの先生と常に接するという事はなかなか難しいということも聞いております。それと来る方の性格や個性がありますので、同じような条件でも受け取り方によっては、日本に合う合わないというところが出てくるのかなと思っております。できるだけ子どもと接する機会をふやす意味では2年、3年といていただきたいと思いますが、ちょっと難しいところはあります。

【重清委員】1年でお帰りになられた方もいらっしゃるが今お聞きしましたが、おられる間はベストを尽くされていたということですか。帰りたいという気持ちが大きすぎてなかなかコミュニケーションが取れないとか、先生方と話ができないとか、授業に差しさわりのあるとかそういうことはなかったのですか。

【前田学校教育課長】はい。そういうことはないです。ただ、ちょっと病気をされたりとかはありました。

【重清委員】学校訪問の時に1度、ALTの先生の授業を拝見させていただきましたが、楽しそうに授業をされていました。

【前田学校教育課長】今回帰られた方も、来た時点ではかなり日本語を勉強されて、わかってた方なんです。少し繊細な方だったのかなというところもあります。

【重清委員】ホームシックとかそういったこともあったんでしょうか。

【前田学校教育課長】そうですね、最初の頃はあったんでしょうけど。

【重清委員】難しいですね。できるだけ英語の講師の先生にコミュニケーションをとっていただき、子どもたちと交流ができる窓口となって、少しでも長くいていただけたらと思うのですが。

【前田学校教育課長】学校教育課にも担当がおりますので、連絡を取りながらしていきます。

【重清委員】どんどん替わられて、また初めからとなれば、生徒さんに支障をきたすので、難しいところだとは思いますが、最長が5年で、長い期間いてくださいという感じですか。

【前田学校教育課長】そうですね。

【重清委員】できるだけ英語の講師の先生とコミュニケーションを取っていただいて、少しでも長く児童生徒とも交流が持てるように頑張っていたいただきたいと思います。

12ページをお願いします。課題や今後の方針に、「基本的生活習慣、食育の推進体力の向上を図る」とありますが、事業実績状況を見ますと、基本的生活習慣の確立、食育の推進についての取組が記されておられません。昨年、教育長さんより、各小学校の保健の先生が個別に保健指導されたり、希望があれば毎日のように体重を計ったり、保健の先生が気づいたことを保護者にも伝えているとおっしゃっておられましたので、是非ともすべての小学校中学校で、栄養教諭や保健の先生方にご家庭での食生活の大切さを伝えていただきたいと思っております。この12ページに記載はありませんが、16ページの具体施策に「栄養教諭が学校へ出向き対象学年で阿波市のテーマを決めて食育事業に取り組む」とあります。実績状況で記載していただければと思います。また、69ページの事業実績状況で、生活チェックでの自己改善や参観日などを通して、保護者の生活習慣改善の意識を高め、家庭啓発を行ったとあります。こうした取組や、5ページの学校給食センターの(3)の取組が、最後の指標一覧の肥満傾向の児童の割合を下げていくことにつながると思っております。頑張っていたいただきたいと思います。それと16ページ、先ほど申し上げた具体施策に記された食育事業は、すべての小学校中学校で毎年行われているものなのでしょうか。

【井内学校給食センター所長】毎年、各校で1回ずつ回っております。

【重清委員】栄養教諭の授業も以前、学校訪問時に見せていただいたことがありまして、すごく勉強になるし、子どもたちも知らなかったことがわかって栄養に気をつけなければいけないという再認識ができるので、すごく大事なことです。そうしたことを子どもたちが保護者の方に伝えることも大切だと思っておりますので、よろしくお願いたします。次、17ページをお願いします。具体施策や事業実績状況にありますように、ICT機器を活用し、楽しくわかる事業に取り組まれています。先

生方が積極的にICT機器を活用し、どの先生も使いこなせてきているときに、不具合が生じ、ICT機器を活用した授業が中断しないように、入替時期には、トラブルや不具合が起こらない、性能のよいものを慎重に検討していただきたいと思います。よろしくお願いいたします。それと35ページ、昨年もお尋ねしましたが、具体施策や事業実績にどういった講座で受講生はどのぐらい増加しているか、アンケートはどういったもので、結果はどうであったのかなど、36ページや45ページ、58ページ、59、68ページのように、具体的な記載があれば、もっとわかりやすいのではと思います。どうでしょうか。

【板東社会教育課長】アンケートの結果ですが、先ほど委員さんがおっしゃった45ページのアンケートと同じものになります。それとは別にこれは講座ごとにアンケートを実施しておりますが、生涯学習の映画会を8月と12月に各2回、合計4回しております。その時に、その映画会に来ている方に、現在、こういった講座をしていますが、また新たにこういう講座をしてほしいという要望アンケートも実施しております。

【重清委員】その映画会はすごく人数がたくさん来られてますよね。

【板東社会教育課長】午前の部と午後の部を併せましたら大体、去年はコロナで人数制限があったんですが、500人ぐらいです。

【重清委員】楽しみに来られているということですよ。

【板東社会教育課長】そうですね。楽しみしていただいているようです。その時にアンケートを実施しています。

【重清委員】でしたら35ページに45ページを参照とか記載していただけると、わかりやすいと思いますのでお願いします。次に45ページ。これは感想ですが、新しい講座も加わり、市民の満足度が高いので、市民のニーズに応じた講座を今後も継続していただきたいと思います。あと48ページ。事業実績のところ「計画的に事業を推進」とありますが、どこで利用されておりますか、子どもは学校でしょうか。市民はどこでされているのでしょうか。これは49ページが内容になりますか。

【板東社会教育課長】スポーツ協会とか総合型スポーツクラブとかありますが、総合型スポーツクラブの方は吉野町、土成町、阿波町に3団体ございまして、いろんなスポーツを各自でしております。また、スポーツ少年団を対象にした駅伝大会とか各スポーツ少年団がございまして、そちらに補助金を社会教育課から交付して、各自で催しを実施していただいております。

【重清委員】ありがとうございました。令和4年度はまだコロナ禍であり、大変な時期でありましたが、学校でも衛生面にしっかり気をつけた生活が習慣化され、少しずつ行事もできるようになってきたところです。そうした中、子どもたちが安心安全な環境でICTを活用し、学力向上を目指した学びができるように、また市民の

皆様にとっても、活気のある生活を送っていただくために、一つ一つの事業を実施するにあたり、先生方、行事にご協力いただく地域の方々、委員会の皆様も努力されておられます。毎年、点検評価の報告書について意見を述べさせていただいておりますが、年々総合評価においてもAが増え、Bについても、Aに近いBと、今後期待ができる事業が増え、皆様方のご苦勞が実り大変うれしく思っております。今後も市民の皆様、幼児、児童生徒の皆さんにとって実りのある74事業であってほしいと思っております。学識経験者の先生方におかれましては、一つ一つの事業をしっかりと見てくださり、今後期待していただける、高い評価をいただき、また、課題とするところは計画的に具体的に解決できるようにご指導いただき、心より感謝申し上げます。ぜひ今後に生かしていただきたいと思っております。私の方からは以上でございます。ありがとうございました。

【大戸井委員】 よろしく願いいたします。まず9ページの1-1ですが、小学校と認定こども園との関連ですが、公立と私立の関係なく、この交流はされているのですか。

【前田学校教育課長】 はい。公立と私立と9園ありますが、全部それぞれ近くの小学校と同じように交流しています。

【大戸井委員】 わかりました。ありがとうございます。続きまして10ページ。先ほど重清委員さんもお話しされていましたが、ALTの方の課題や今後のところですが、一点、採用は先ほど阿波市でされてないということだったんですが、やっぱりこれは県や国の事業、国が採用するんですか。

【前田学校教育課長】 国、県が協力して実施しているJETプログラムを活用して、阿波市に来ていただいております。

【大戸井委員】 課題や今後の方針のところでは厳しい評価をされているのですが、達成度が高いですね。課題と今後の方針の表現の仕方ではかなり達成度が低いのかなと思いましたが、達成度としては3ということで、事業としては順調よくいっているということですね。

【前田学校教育課長】 そうですね、課題として、年数の方がもっと長くしていただきたいなというところがあります。

【大戸井委員】 わかりました。ありがとうございます。12ページのところはやっぱり達成度が2というのがちょっと気になりました。それから次の14ページです。こちらの働き方改革の部分は達成度が2ということと、課題や今後の方針のところにもありますが、目標達成度は低いのですが、その達成度が好転する要素や対策というのは、具体的なものは次年度、今年度になりますけど、何かされていますか。達成度がかなり低いので気になりました。

【佐藤教育次長】 働き方改革については各学校でいろいろ工夫しながら、いろいろなものを取り入れながらやってるという形です。少しずつ良くなっていっているとは

思いますが。

【大戸井委員】わかりました。15ページは、環境教育ということですが、まず、教育委員会の二次評価のところにも「学校だけでなく」という言葉がありまして、例えば、吉野中学校東側のテニスコートの近くにごみを集める場所があったり、吉野町の図書館の東側にもごみ集めるところがありますが、そういう学校周辺の附属施設や周囲の環境整備、先ほど申し上げましたごみ集積所のあり方についても、また生徒さんの勉強の中に入れていただけたらなというふうに感じました。続いて17ページですが、事業概要の「緊急時に備えたオンライン学習体制を準備します」というところで、学びを止めないこと、やっぱり感染流行時や災害時における学びの体制づくりに貢献することを期待しております。続きまして、28ページでございますが、安全安心な環境づくりということでございまして、通学路の点検ということがありますが、これちょっと気になったのが、西条大橋の北側がちょうど北に抜けるようになりまして、確か7月24日か27日が開通日だったと思いますが、直後に大きな事故があったと聞いております。そのあとすぐに私も見に行きましたが、横断歩道の道路標示がなかったと思います。もちろん信号もない。ところがあそこは近くに大久保医院もあって高齢者の通る率が高い、当然、小学生の集団登校の通学路にも使ってる。中学生や高校生の自転車通学も多い。見ていますと、西条大橋からおりてきて北に向けて行くときにかなりのスピードで出ています。そういうところで、信号はないんですけど、例えば一時停止の標識もないし、夏休み中に開通したので、おそらく夏休み明けに、非常に危険な状態になるのではないかっていう心配を抱きました。ですので、教育委員会として、その交通の安全、子どもたちのその通学の安全を確保するために、例えば、警察に信号機の設置を要請したり、横断歩道の設置を要請したり、そういった活動とか要望される予定はあるのでしょうか。

【森友教育部長】信号というのはちょうど交差点から、北に、50メートルか100メートルくらいのところですよ。

【大戸井委員】ちょうど福島歯科医院の交差点のところに信号があるんですよ、それを北へ上がったところですよ。

【森友教育部長】その件につきましては、今、吉野中学校と一条小学校の保護者や校長先生の方からの陳情を受け、市教委も要望書を出しております。

【大戸井委員】それはよかったです。

【森友教育部長】そういう話で動いておりまして、あとは公安委員会の方の結果を待っている状態です。

【大戸井委員】信号が青になったら、北まで信号がないので。車に乗っている方は、地域のことを知らない、あの道を通るだけの方もいますので。

【森友教育部長】学校教育課の方がまとめをして、書類はもう提出しております。



【大戸井委員】気になっておりましたので良かったです。ありがとうございました。  
62ページの文化財ガイドブックについてですが、これも委員会でお聞きしたと思いますが、非常に立派なものが作られて、それから時間も経っていますが、市民の方たちに公表であるとか、増刷の予定ですね、こういったものについてはいかがでしょうか。

【板東社会教育課長】増刷につきましては、今のところ、まだ残っておりますので。担当の方から小中学校の方にはお配りしまして、あと一般市民の方ですが、配布はしておりません。なくなり次第また増刷とか計画等はしなければならぬとは考えております。問い合わせは何件かあります。

【大戸井委員】問い合わせもあるんですが、すごく反響があるんですね。ありがとうございました。やっぱりそういった本の増刷も含めてですけども、事業としましては保存面の充実に加えて、こういったガイドブック自体も活用して、活動していただきたいなというふうに期待しております。それと63ページですが、「施設の整備充実と必要な人材の育成確保」ということが具体的施策になっていまして、二次評価で「企画展の開催等充実努めるとともに」とありますが、その具体施策と教育委員会の二次評価を含めて、お考えがあればお聞かせ願いたいと思います。例えば、この人材の育成確保については。

【板東社会教育課長】現在、担当の課長補佐が、17年、文化財の関係を担当していますが、1人でしているような状況です。後任が育ってはいないので、人事ヒアリングの時もそういった専門の大学を出た方がいればと。いきなり入れ替ても急にはできないので、人員をつけてほしいという要望は人事担当にはしておりますが。なかなか、専門職を要しますので。

【大戸井委員】2人体制では。せつかく専門職の方がいらっしゃるんだったら、ましてこの具体的施策に人材育成確保とありますので。

【板東社会教育課長】はい、要望としては。

【大戸井委員】実際にいらっしゃるんですから、そういう人材を活用されてはいかがかなという。期待したいなというふうに思います。あと78ページの人権の部分なんですが、No. 70からNo. 72の人権に関する標語がすべてBということでございますので、これにつきましては、今後の取組に期待したいなというふうに思っております。それから別紙でいただきました、学識経験者の所見の89ページのところ。「歴史館の整備、有効利用がB評価である」と書かれているところで、歴史館入館者数は実施実績が600人。目標値は500人となっており、目標値達成というふうになっておりますが、この500人という数字自体が目標値としては、多いんですか少ないんですか。年間500人ですよ。

【板東社会教育課長】そうですね、多いとは言えないんですけども。大体、団体客が大半なんです。小学校の団体とか、何らかの団体とかで毎日の日々の利用者という

のは、ほぼいないようなので、一概に少ないとも言えないのではないかなと。

【大戸井委員】なるほど。ということは数値としては適正ということで、わかりました。私は以上でございます。ありがとうございます。

【森本委員】お願いします。感想とご質問というか、この96ページのA3の一覧表です。こういう満足度、目標があって、実績があるということは、実績値が下がっているところはたぶん市民の皆さんは非常に気になる場所だと思うんです。特に「子どもの体力アップ事業」のところで、去年よりも、かなりパーセンテージが増えて、目標の倍ぐらいになってしまったというところですか、あとは、スポーツ少年団のクラブ数とかですね、総合地域スポーツクラブ数が39から33に減っているとか、これ部活の地域移行の要綱、今回こういうふうな形で制定された場合に、本当に大丈夫なのかというご質問がたぶん出てくると思うんです。リーダー育成に関して、同じような形だと思います。具体的に言うと、51ページ。リーダーを育成するとか、そういったものもちょっと評価的にはどうなのかなというのがあるんですけど、今改善するとか、クラブ数を増やすとか、そういう具体的な施策ってなかなか難しいと思うんですけど、やっぱりそういうふうにはやっぴいかなきゃいけないという中で、何か長期的でもいいので、そういう施策みたいなものはあったほうがいいんじゃないかなと思います。いかがでしょうか。これが出るんですよ、市の公表という形で。たぶん評価シートを見るよりこの一覧表を見て、どこができてないんだというのをおそらく一番目につくと思うので、そこに関して、こういうことをもうちょっとやっぴいこうという施策みたいなものがあつた方がいいのかなと思うんです。例えば、クラブ数33というところですが、これ具体的にはどんな割合になっているのかとか、本当に子どもがやりたいスポーツを選べるのかとか、たぶん、そういうのも聞かれる可能性はあると思うんですよ。例えば、野球とかサッカーとかにかなり偏っているのであれば、本当にそれは部活動なのかという保護者もおられると思いますし、逆に言えばそのサッカーと野球しか選べないというふうになると、その地域の部活の地域移行もなかなか難しくなるんじゃないかなと思うんですけど。そのあたりは、例えば、市外の違うスポーツのクラブチームを教えていただくとか、そういうことは考えてらっしゃいますか。

【板東社会教育課長】地域移行の話ですね。

【森本委員】もうちょっと先の話になると思うんですけど。

【板東社会教育課長】実際、部活を教えるとなりますと時間帯もあると思うんですよ、4時からとか5時ですね。

【森本委員】評価もしないといけないんですよ。

【板東社会教育課長】地域移行の指導者というのは、私も教員のOBとかでなければなかなか難しいのではなからうかと思いますが、現在スポーツ少年団の代表者の方が、地域移行の受け皿になるのはちょっと難しいかなとは思っております。

【森本委員】また違う新しい施設、組織とかそういうのを作らなきゃいけないという話になると、例えば、まっさらなところからやるのってやっぱりすごく難しいと思うので。何らかの協力なりそういうのも、長期的には見ておかないと。具体的にはこういう計画でやりますよと、たぶん質問が来ると思います。達成している部分に関しては、今までどおりやっていただいたらいいんじゃないかと思います。ただ、気になったのはそのできてないところをどうするのかっていうところをもうちょっと書いていただいたほうがいいかなと思いました。以上です。

【細川委員】お願いします。阿波市の第二次教育振興計画の2年目ということで、74事業についてPDC Aサイクルできちんと評価されてすごいなと思って感心をして読ませてもらいました。初めてなので、よくわからないところがあるので、ちょっと質問も兼ねて、お願いできたらと思います。一つ目は、10ページです。確かな学力の育成というところで、事業内容のところ、事業概要のところ、「学力向上施策の推進に努めます」というのがあります。それに対して具体的な施策のところに出てくるのは、英語活動・授業ばかりなんですよね。17ページに、「ICT教育の推進」という事業名があるんですが、その中の具体策の中に「学力向上推進講師を各小学校に配置し、ICT指導や放課後学習を指導して学力向上を図る」という表記があります。これは、第二次教育振興計画の中で出ておりますが、学力向上のところ、学力向上推進講師は入っています。だから、ここの10ページのところに、17ページのこの文言をもって来る方が学力向上にふさわしいんじゃないかなあと思いました。その下の事業の実績状況のところも、学力向上推進講師については、学力向上の方でいいんじゃないかと。その下はもうタブレット型のパソコンとかいうこと書いてありますので、デジタルの方でいいんじゃないかなと。それから、21ページ。コミュニティスクール制度の活用というところで、令和4年4月からコミュニティスクールが始まったと思うんですけども、それで、今までのコミュニティスクールがなかった学校でコミュニティスクールができて、地域のゲストティーチャーであるとかいろんな地域の力を借りるのに、どんな成果があったのか、もしわかるのであれば教えてほしいです。私がいたときはコミュニティスクールは一部の学校しかしてなかったものですから、すべての学校にできましたので、成果が学校からも上がっているのであれば教えていただけたらと思います。

【佐藤教育次長】コミュニティスクールについては、昨年度から始まったところなので、まだ十分な成果っていうのは、お聞きはできてないんです。昨年もコロナ禍ということでなかなか呼び出すということもできなくて。少しずつ地域の力をお借りしながらといいますか、今のところは学校評議委員会からちょっとずつ広がっていったという形だと思います。

【細川委員】それから、23ページのところの事業名のところで適応指導教室「阿波っ子スクール」と書いてありますが、これは教育支援センターに変わったのではな

かったかなあと思いました。

【高田教育長】今年度から変わりましたので。

【細川委員】この報告書は昨年度の分になるので、これでいいんですね。来年度に報告する分から変えるということで。わかりました。あと、「成人式」も「二十歳のつどい」に変わったと思いますが、「成人式」という表記がありました。

【板東社会教育課長】間違えておりますので、修正いたします。

【細川委員】それから、もう1点。27ページに「帰国・外国人児童生徒への支援」という事業名がありますが、令和4年度の事業実績状況のところ「小学校2名と中学校1名がトータルサポート事業を活用し」とありますが、これは県の事業になりますか。

【前田学校教育課長】そうです。

【細川委員】これは1年限りですか。

【前田学校教育課長】いえ、1年限りではないです。毎年申請は必要ですが。

【細川委員】続けて、この学校に来てくれるのですか。

【佐藤教育次長】そうですね。毎年申請すれば、日本語講師が週何時間か日本語を教えてください。

【細川委員】毎年更新したら、その子が卒業するまでとか。

【佐藤教育次長】必要な時に申請して来ていただいて、必要がなくなれば申請をしないという形になると思います。

【細川委員】割と希望は通るんですか。

【前田学校教育課長】枠はあると思うんですけど、阿波市は、去年度と5年度も申請した分は通っています。

【細川委員】阿波市は日本語教室とかそういうところは、今のところはまだないんですか。

【佐藤教育次長】ないですね。

【高田教育長】この県の事業については、日本語が十分にわからない子どもさんが学校に来ていますので、その子をサポートしていただいています。時間数が少ないんですよ。限られた費用の中で限られた時間だけになります。

【細川委員】30ページのところで、先ほど大戸井委員さんもおっしゃっていましたが、毎年、各学校の危険な場所とか、いろんな通学路の点検をしていると思いますが、大体は改善されているんですかね。やっぱり無理なところはあるんですか。

【前田学校教育課長】構造上、家があつて動いてもらわないと道が広げれないとか、そういうところは、要望はしますがなかなか難しいところがあります。

【細川委員】やっぱりその辺りは子供たちに「気をつけて通りなさいよ」と。

【前田学校教育課長】そうですね。注意喚起を徹底するという形です。

【細川委員】それから33ページ。学校施設の整備ということで、各学校すごく整備

がされて綺麗になっていっているなど思ったんですが、多目的トイレはもう大体各学校についたんですか。

【酒巻教育総務課長】そうですね大体の学校で設置できています。

【細川委員】これはやっぱり各階にですか。

【酒巻教育総務課長】各階にはないです。学校によって数や設置場所は違います。

【細川委員】大体学校から要望があったところについてはついているという感じですか。

【酒巻教育総務課長】そうですね。

【細川委員】施設が随分良くなっているなあと、学校施設も社会施設も、続けていただけたらと思います。さっきも出てきましたスポーツの関係なんですけど、54ページ。事業評価のところ、これが一番低いと思いますが、有効性1という評価があって、非常に厳しい評価されておりますが、どうしてでしょうか。

【板東社会教育課長】先ほども申し上げましたが、吉野・土成・阿波町3団体ありますが、同じメンバーで好きなクラブ活動をしておりますので、新しい人が少ない、全くいないような感じになっているんです。年齢層も高くなっているのです。

【細川委員】それで厳しい評価になったのですね。ちょっと1というのが気になりましたので。それと、62ページの文化財のガイドブック、事業名が「ガイドブックの作成」になっておりますが、これは4年度に完成したので、来年度に向けてはまたちょっと内容を変えるとか活用方法を考えるということですね。

【板東社会教育課長】そうですね。

【細川委員】課題や今後の方針のところの文章が途中で切れてしまっているの、文字入力の関係とは思いますが、修正した方が良いと思います。

【板東社会教育課長】わかりました。

【細川委員】それと、もう1点教えてください。66ページに、人権教育講演会の実施についてですが、廣島先生も所見で書かれていましたが、これは毎年1校だけなんですか。4年度は阿波中学校だけですか。

【板東社会教育課長】そうです。

【細川委員】これは4年間で回していくということでしたら、やっぱり1度も受けない学年の子がいるということですか。

【板東社会教育課長】こちらの青少年育成の事業では、4年に1回になってしまうんですけども、市の人権課の方で毎年、全中学校ですべてしております。この事業については補助金の中での運用になりますので、予算の関係もありまして年1回の実施となっております。そういった感じで順番に回している状況です。人権課の事業は市内4つの中学校ですべてしております。

【細川委員】人権課の方でこの事業で実施していないところもカバーしているということですね、わかりました。以上です。ありがとうございました。

【森委員】私も初めてでほとんど感想で申しわけありませんが、述べさせていただきます。令和2年度と4年度の比較の数値もありますが、どちらもコロナ禍の中で、教育振興計画に沿った取組を計画的に進められている皆様に敬意を払いたいと思いながら読ませていただきました。コロナ禍が収束して、今後いろんな活動が活発にできるようになってくると、さらにすばらしい評価ができてくるんじゃないかなと全体的に感じました。私の感想になりますが、例えば、15ページの「環境ISO」、20ページの「キャリア教育」、21ページの「学校・家庭・地域との連携」につきましては、実践する立場からするとコロナ禍の中でっていうのは、本当に困難だったのではないかと思います。私もコロナ禍の学校で1年間過ごしたので実感していますが、そんな中でA評価を出すことができたというのは素晴らしいと思いました。それから、16ページの食育・地産地消の推進につきましては、数値で地産地消率が5.4%向上したということを示してくれていますが、具体施策の中で2か月後の地場農産物の育成状況を確認しているというようなことを書かれているのを読ませていただいて、努力の成果だなあと感じました。それから、大戸井委員さんもおっしゃっていましたが、14ページの「働き方改革の推進」ですが、評価項目に「あまり寄与していない」となっているのが2つありますけれども、このことについては、本当は非常に難しい課題であると思います。今も部活動の話があったように、真剣に取り組んでいるというのはよくわかるんですが、今後も業務の適正化を図って、教職員が遠慮なく休める環境づくりを進めて行っていただけたらと思います。でも一方では、24ページの「教職員の指導力とカウンセリング能力の向上」とか25ページの「障がいのある子どもの環境づくり」など教職員の能力も重要な課題がある中での働き方改革の推進なので。今日の徳島新聞にも、文科省が学校事務の方にできる支援の人を2倍にすると、そういうふうなこともありましたので、加配教員の配置など、的確な支援体制を今後もしていただけるのがいいかなと思いました。59ページからの文化財関係のところですが、59から62ページまですべてA評価ということで、非常に素晴らしいなと思いました。ガイドブックについては、各学校に何冊配布されたのですか。

【板東社会教育課長】各学校に2冊です。

【森委員】非常に素晴らしい冊子ですので、もし学校に複数あれば、学校としても社会科学習、あるいは、今後ますます地域の学習というのは総合的な学習等で増えていくので、有効に使えるのかなあと感じました。77ページの子供会活動については、廣島先生の所見の中にもありましたが、55団体で金額が39万2,506円でしたら1団体あたり7,100円ぐらいになるかと思います。子供会の運営は非常に難しくなっているのではないかと感じています。私も過去の経験でも大変厳しくなってきたように感じますので、それを維持したり活性化するためには、支援が必要なのではないかと感じました。以上になります。

【高田教育長】ありがとうございました。私の方から説明させてもらってよろしいでしょうか。先ほど森本委員さんからお話がありましたように、一番後ろのA3の資料を見ていただきましたら、教育委員会のそれぞれの事業の成果、課題が見えると思います。まず、KPIを定めまして、主に客観的なデータに基づく数値をもとに評価をしております。この中には、さらにいくつかの事業が市の総合戦略に報告している事業があります。例えば、2番目の小学校英語活動事業。これは市の総合戦略の中でこの事業が毎年評価をすることになっておりまして、数値目標を90%とし、毎年の評価をしております。先ほど、学力向上って英語だけかというような、細川委員さんのご指摘がありました。おっしゃる通りでございます。学力向上はやっぱりしなければならないことがあります、その中でも確かな学力という中で、本市の特色ある取組として英語活動を取り出しています。というのは、合併当初から英語指導講師を配置しておりまして、これは阿波市ならではの独自の事業ということで、それを出しております。ご理解いただけたらなと思っています。それと、このA3の表ですが、令和4年度の実績値で空白のところがあります。例えば、一番上の「学校教育に対する満足度」、すごく大事ですが小中学校とも空白になっております。これは、この教育振興計画を5年ごとに作成しますが、その時にアンケートをすることになっており、その間はしないんです。だから、しばらくの間、空白になっております。でも、これに近い評価として、全数調査ではないのですが、毎年、全国学力学習状況調査を行っております。小学校6年生と中学校3年生で。その時に、満足度ではないんですが、子どもたちに、例えば「学校へ行くのが楽しいか」というようなアンケートがあるんですよね。それに私は置き換えてもいいかなと思っています。例えば、小学校の子供たちが、「学校行くのが楽しいか」というようなアンケート調査結果が、昨年度は小学校は87.5%になっています。それから中学校が87.1%になっております。小6と中3になりますので、悉皆調査ではありませんが。せつかく国の調査がありますので、そのことをお知らせできたらなと思っています。それと、正直申し上げて働き方改革、これはかなり難しいと思っています。部活の地域移行もそうです。でも、やらないきゃいけないということで、働き方改革は議会でも、また校長会でも再々お話がありますので、今、大体の取組だけを簡単にお知らせさせていただきます。まずは、外部人材の確保が言われています。阿波市では県の学びサポーター事業、それとか若手サポート事業というのがありますが、それもしっかり手を挙げて希望のある学校には配置させていただいています。市単でも学力向上推進講師、英語指導講師、また、ICT支援員も他の自治体よりたくさん配置しています。外部人材確保という面ではまあまあかなと思っています。それ以外に校務支援ソフトは全県的にも活用できるようになりました。また、GIGAスクール構想が進んでいますので、それを利用して、できるだけ先生の業務負担の軽減をはかるようにということで、最近、Web会議

も増えました。校長会なども、時々、Web会議を活用しています。それと管理職にお願いしているのは、やっぱり先生方お一人お一人の勤務時間の管理をやってくださいと。管理することによって、どれだけの時間外労働があるかということが把握できますし、健康管理もできると思います。また、校務の平準化ができていくかということも、これを見てわかるところもあると思いますので、そのことは毎年お願いしております。それと、学校行事の精選もコロナ禍で大分進んだように思います。例えば、運動会、以前は1日でしたが、半日でも十分できることがわかり、いわゆる保護者の意識も変わりつつあるんじゃないかなと思っています。それともう一つは、ちょっとこれは他の自治体のことはわかっていないのですが、学校閉庁日を設けています。今年は8月10日から8月15日まで閉庁日ということにしました。その他、部活動の地域移行に関しては、今後の検討課題と思っています。それと、部活動の地域移行は、森本委員さんからご指摘がありましたけれども、本当に今、頭を抱えています。でもこれを改革しない限りは、中学校もやっぱり厳しいところがあります。これはやっぱり大きな課題が3つあるんですね、まずは指導者の問題、指導者が確保できるのか、指導者育成できるのかと。それとお金ですよ。今までのように学校であれば必要ありません。しかし、外部委託とか、他の指導者を雇った場合にはお金が要ります。それから運営主体を本当に地域に投げても大丈夫なのかなど、課題が多くあると思われまます。この検討委員会を早速ひと月ぐらい後にもする予定ですが、そこでじっくり話していかなければならないかなと思っています。また、状況をその都度お話しさせていただきますので、その時にまたご指導、ご助言いただけたらと思います。以上でございます。あと何か。よろしいでしょうか。それでは、議案第2号について承認いたします。

議案第3号 「令和5年度阿波市一般会計補正予算（第6号）教育委員会所管部分について」  
議案第4号 「準要保護の認定について」

【高田教育長】次に、議案第3号につきましては、令和5年第3回阿波市議会定例会に提案予定の案件となります。また、議案第4号につきましては、個人情報が含まれる内容となりますので、会議規則第17条の規定により秘密会とし、非公開としてよろしいか。

【各委員】異議なし。

【高田教育長】異議なしと認め、議案第3号及び第4号は秘密会とし、非公開といたします。

〈秘密会〉

【高田教育長】秘密会を解きます。

議案第5号 「阿波市中学校における部活動の在り方に関する方針について」（追加議案）

【佐藤教育次長】追加議案をお願いします。



【高田教育長】ただいま配付いたしましたとおり、追加議案が1件提出されました。お諮りいたします。直ちに議題としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

【各委員】異議なし。

【高田教育長】ご異議ございませんのでそのように決定し、議案第5号として議題といたします。それでは事務局より説明をお願いいたします。

【佐藤教育次長】「阿波市中学校における部活動の在り方に関する方針について」説明。

【高田教育長】ただ今の議案第5号についてご質問等ございませんでしょうか。

〈質 疑〉

なし

【高田教育長】それでは、お諮りいたします。議案第5号「阿波市中学校における部活動の在り方に関する方針について」は、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

【各委員】異議なし。

【高田教育長】それでは、異議なしと認め、議案第5号は原案のとおり決定されました。以上で本定例会に付議された議案はすべて終了しました。そのほかございませんか。それでは、以上をもちまして、令和5年度第5回阿波市教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉 会

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和5年8月24日

教 育 長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員

委 員

教育総務課課長補佐